

宏報 あした

2022

8

月号
No.210

令和2年7月豪雨犠牲者追悼式

令和2年7月豪雨災害

あの日から2年

希望溢れる

新しい芦北町を創造する

令和2年7月豪雨犠牲者追悼式



7月24日、しるやまスカイドームにおいて、熊本県と芦北町の共催で令和2年7月豪雨犠牲者追悼式が行われました。

はじめに、参加者全員で黙とうを捧げ、犠牲になられた方の冥福を祈りました。

式では、竹崎町長が「この2年間は、またたく間に過ぎた2年間であり、被災された方々の生活再建を最優先として、スピード感のある復旧・復興を目指し、全身全霊を傾けてきました。復興への道のりは平坦ではありませんが、町民の皆様と心をひとつに様々な辛苦を乗り越え、希望溢れる新しい芦北町を共に創造していくことが、私たちに課せられた使命であり、御霊に対する供養であると胸に刻み、発奮興起し「途に努力してまいります」と述べ、蒲島郁夫熊本県知事の代理で出席した木村敬副知事は「誰一人取り残さないという強い決意で、被災地の創造的復興と、被災者の住まいの再建、ひいては心の復興に全力で取り組んで参ります」と式辞を述べました。

遺族代表の「追悼の言葉」では、山の土砂崩れで自宅が押し流された矢野解光さん（伏木氏）が「妻とこのような形で離れ離れになるとは夢にも思わず、妻の写真を見るたび、笑顔を思い出すが、何もしてやれなかったことが悔やみきれません。自分も生死をさまよった者として、生き抜いて、皆様にひとつでも恩返しをしなければと使命を感じています」と妻のまこ子さんを「くし助けられなかった無念さと、今後の復興への強い思いを述べました。

来賓の金子恭之総務相は「古里の復旧・復興は私に課せられた使命であり、国としてできることを全力でやっていきます」と述べました。



▶ 献花と共に祈りを捧げる遺族



▶ 追悼の言葉を述べる矢野さん



▶ 金子総務大臣



▶ 木村副知事

芦北町長 式辞

(一部抜粋)



令和2年7月豪雨災害の発生から2年を迎え、熊本県との共催の下、金子総務大臣をはじめとする御来賓各位の御臨席のもと、犠牲者追悼式を挙行するにあたり、犠牲となられた御霊に対し、町民を代表して謹んで哀悼の誠を捧げます。また、今なお、お一人の行方がわからぬままであり、一日も早い安否の確認を念じるばかりです。

愛する方を突然失われ、癒されることのない辛く悲しい日々を過ごされたままの御遺族をはじめ、御親族の皆様の御心痛を思いますと、哀惜の念を禁じ得ません。

この災害は、辛く悲しい記憶ではありませんが、犠牲となられた方々の鎮魂のためにも、災害の記憶を留め、あの日の経験を教訓とし、二度とこのような被害を生じさせてはならないと決意を新たにしております。

発災直後、最大776世帯、1,175名の方が避難生活を余儀なくされていましたが、自宅の修理や宅地内の土砂撤去が進むにつれ、多くの方々が住み慣れた地域での生活を再開されています。一方、現在も300名を超える方が、仮設住宅などで様々な不安と向き合いながら、避難生活を送っております。

災害公営住宅の早期完成をはじめ、あらゆる手段を用いて、すべての方が生活再建を果たしていただけるよう全力を尽くしてまいります。

各種災害復旧事業では、佐敷川をはじめとする大小河川の土砂撤去や改修工事、治山工事など、熊本県において迅速に対応いただいております。おおよそ6割を超える発注がなされている状況です。また、大規模な土砂災害からの復旧については、国による代行事業によってすべての事業が発注され、多くの箇所でも成が見られています。また、町においても河川、農地など5割を超える発注が完了しております。少しずつではありますが発災前の日常に戻りつつあることを実感しております。

しかしながら、全町全域に及んだ無数の傷跡からの復興は、一朝一夕に成し遂げられるものではありません。本年を復興元年プラスワンと位置付け、国、県の御理解と御支援をいただきながら、さらに歩みを力強く、確かなものにしていく所存であります。



▶ 一般献花する消防団員



▶ 一般献花する親子



▶ 黙祷する参列者

豪雨災害以降、どうすれば災害に強い町ができるか、どうすれば被害を最小化できるか、どうすれば住んで良かったと思っただけなのか、問いつける日々であります。

町民の皆様と心をひとつに様々な辛苦を乗り越え、希望溢れる新しい芦北町を共に創造していくことが、私たちに課せられた使命であり、御霊に対する供養であると胸に刻み、発奮興起し「途に努力してまいります。」

終わりに、これまで賜りました国や県をはじめとする全国の皆さまからの御支援、御尽力に改めて感謝申し上げますとともに、御遺族、御親族の皆様を祈念申し上げます。

復興元年プラスワンの年 復興を加速させ希望溢れる芦北町を創造する

① 生活とくらしの再建

▶住まいの再建に向けて

被災された皆さまの応急的な住まいとして、女島ゆめもやい緑地仮設団地と借上げ型仮設住宅（みなし仮設）を提供しています。町・県・地域支え合いセンターでは、毎月、入居者の住まいの再建に向けて、支援策の検討と情報共有を行ってきました。今後も入居者の意向を伺いながら、一日も早く住まいの再建ができるよう支援していきます。

また、被災家屋の再建に対して、補助金の上乗せ補助を行います。



仮設住宅の入居状況（令和4年8月1日現在）

●建設型仮設住宅（女島ゆめもやい緑地仮設団地）

入居戸数 46戸 入居者数 107人

●借上げ型仮設住宅

入居戸数 52戸 入居者数 113人

▶地域支え合いセンターによるケア

令和2年11月に芦北町社会福祉協議会に「芦北町地域支え合いセンター」が設置され、17名の生活支援相談員による見守り活動、健康・生活支援や相談事の関係機関へのつなぎ、仮設団地での交流事業など総合的な支援を行っています。



▲仮設団地での見守り活動



▲みんなの家での交流事業

interview



芦北町地域支え合いセンター 漆山 明美さん

被災された方々の見守り活動、健康・生活支援、相談があった際の関係機関へのつなぎなどを行っています。相談があった際は、関係機関へ速やかにつなぎを心掛けています。

また、仮設団地内の「みんなの家」で交流事業などを定期的に行い、住民同士のコミュニティの活性化や健康増進を図っています。これからも、被災された方々と関係機関との仲介役として、見守り役として支援にあたっていきたいと思います。

③ 地域経済の再生

▶町内企業等への支援

- なりわい再建支援事業等、事業者の復旧・復興関係補助金への上乗せ補助を行いました。
- 復旧資金借入れに対する利子補給や県や商工会と連携した相談受付を行いました。
- 災害とコロナ禍の二重苦に対応するため、町独自の事業継続応援金など各種支援策を行いました。

▶農林漁業の再開支援

- 営農の再開支援
 - ・被災した農業用機械、農機具格納庫、農業用ビニールハウスの修繕、再取得への補助を行いました。
 - ・復旧資金の借入れに対する利子補助、保証料の助成を行いました
- 林業関係の再開支援
 - ・被災施設等の再整備による木材、特用林産物の安定的な生産及び木材利用、供給体制の再建に対する国・県補助への上乗せ補助を行いました。
- 漁業関係の再開支援
 - ・豪雨により故障した、製氷機制御盤の修繕に対する補助を行いました。

interview



フジ写真館（向町） 藤田 憲明さん、春菜さん

令和2年7月豪雨災害では、スタジオが1.8m 浸水し、写真プリント機などの機械類も全て使えなくなりました。当初は想像もしていなかった出来事に、一瞬頭が真っ白になりましたが、お客様や地域の方々のお力添えがあり、発災から10日後にはプリント業務を、20日後には証明写真の撮影業務を再開することができました。また、各種補助金が営業再開へのアクセルとなり、翌年の3月にはスタジオを全面改装するに至りました。これからも地域の人たちの思い出作りの一助になれるような、写真館であり続けたいと思います。

interview



たかみね農園（宮浦） 高峰 裕介さん

主に水稲、いちご、サラたま、葉野菜を栽培しています。令和2年7月豪雨災害では農作物はもとより、作業に使用する農業用機械もほぼ使用できなくなるなど、甚大な被害を受けました。栽培用施設についても被害は大きく、ビニールハウスは金属製の骨組みが曲がり、修復ができないほどでした。農業仲間や多くのボランティアの方々も復旧作業にあってくださいました。今では補助金等を活用し、施設も復旧することができ、以前のように芦北の農作物を多くの人に食べてもらいたいと思い、作業に毎日汗を流しています。

② 公共施設などの復旧

▶河川・道路の復旧

町内の河川や道路の被災箇所について、早期復旧に向けて工事を進めてきました。堤防が決壊した河川等については、今後同じような災害が起きないように、堤防のかさ上げや河道掘削などの改良・復旧を行ってきました。

河川の復旧

◆町管理	◆県管理
・被災箇所 229カ所	・被災箇所 198カ所
・発注件数 97カ所(42%)	・発注件数 118カ所(60%)
・工事完了 76カ所(33%)	・工事完了 25カ所(13%)

(令和4年8月1日現在)



道路の復旧

◆町管理	◆県管理
・被災箇所 191カ所	・被災箇所 83カ所
・発注件数 112カ所(59%)	・発注件数 83カ所(100%)
・工事完了 75カ所(39%)	・工事完了 68カ所(82%)

(令和4年8月1日現在)



▶学校施設などの復旧

床上浸水した佐敷小学校では、教育活動再開のため、田浦小学校及び田浦中学校の空き教室の活用や、校庭にプレハブ教室を設置し対応しました。被災した小中学校の体育館等は早急に復旧工事を完了し、以前同様の環境で教育活動が行われています。



④ 豪雨災害を受けての今後の対応

▶地域防災力強化のために

- 危機管理防災室を設置しました
 - 町の危機管理体制を強化するため、総務課に危機管理防災室を設置し、防災対策の充実化を図ると共に、「逃げ遅れゼロ」に向けた取り組みを推進しています。
- 危機管理監による防災講話を実施しています。
 - ① 自助・共助の重要性について
 - ② マイタイムライン作成支援
 - ③ 地区防災計画の作成支援など

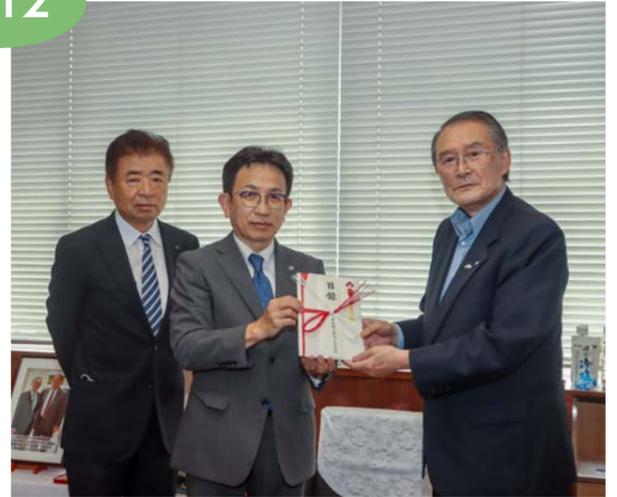
- Web版ハザードマップを公表し広く周知しました。
- 安否確認、物資輸送のためドローンを活用します。
- 孤立対策用物資倉庫の整備を進めています。
- 地域防災力強化支援事業補助金を創設しました。
- 防災士育成事業補助金を創設しました。
- 花岡高台避難場所を整備し運用を予定しています。



▲危機管理監による小学校での防災講話



▲防災倉庫の整備を進めています



和田会長（中央）白坂長一実行委員長（左）竹崎町長（右）

図書と電波時計の寄贈

7/12



湯浦運動公園に設置されたFM電波時計

芦北ロータリークラブから、図書とFM電波時計の寄贈がありました。これは、芦北ロータリークラブ創立50周年記念事業の一環として行われたもので、和田貴嗣会長から竹崎町長へ目録が手渡されました。和田会長は「令和2年7月豪雨災害から2年が経過しましたが、引き続き会員一丸となって応援していきます。この寄贈で子どもたちも元気になってもらえたら」と挨拶。竹崎町長は「故郷を取り戻すために頑張っている最中に、このような寄贈をいただき本当にありがたい」と謝辞を述べました。なお、図書は令和4年度から令和8年度まで毎年10万円分の寄贈を予定されています。また、FM電波時計は湯浦運動公園に設置されました。

寄附金の贈呈



和田社長（下段左から2人目）、平江文化協会長（下段左）竹崎町長（下段中央）、受贈された各団体代表者の方々

江口興産（和田貴嗣代表取締役社長）から、文化活動の活性化を図ってもらおうと、芦北町の文化団体へ寄附金の贈呈が行われました。役場応接室で行われた贈呈式には、和田社長が各団体の代表者へ寄附金を手渡しました。和田社長は「町の文化活動を通じて、芦北町がもっと明るくなり、子どもたちが暮らしやすい町になってもらえれば」と挨拶しました。町文化協会の平江大八会長は「自ら令和2年7月豪雨災害の被害を受けたにもかかわらず、贈呈いただきありがとうございます。和田社長の地域を思う気持ちに感謝し大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。受贈者
・芦北町文化協会
・葦北鉄砲隊
・芦北町相撲甚句会
・芦北町マンドリン協会
・芦北町吹奏楽団
（順不同）



今回で6人目の訓練生となる小林さん（左）

JICA海外協力隊員が派遣前訓練

7/12

海外に派遣予定の海外協力隊員が、芦北町で派遣前訓練に臨んでいます。訓練を前に、竹崎町長を表敬訪問した小林桃子さん（福井県出身）は「芦北町で自分ができることを精一杯頑張りたい」と抱負を述べました。小林さんは、御立岬公園で9月23日まで訓練を行います。



熱心に授業を受ける児童たち

出張授業（私たちのくらしと水）

7/15

内野小学校で出張授業がありました。この日は4年生を対象に、町の上下水道についての学習があり、実際の業務に携わっている役場上下水道課の職員が講話を行いました。水道はどのようにして各家庭や学校へ届けられるのか、下水道はどのように処理されているのか、児童は興味深く学習していました。

たいよう 大海 幕下昇進の報告



竹崎町長（右）とグータッチする大海一成さん（左）

大海（尾上部屋）が先場所において5勝2敗と勝ち越し、幕下昇進を決めました。昇進の報告で大海は「来場所は幕下になり強い相手と取り組みます。勝つてどんどん上がれるよう精進していきます」と抱負を述べました。竹崎町長は「持ち前の真面目さと、その精神力で厚い壁をぶち破って欲しい」と激励しました。

消防ポンプ操法大会（郡大会）

7/29



優勝した第8分団の気迫のこもった操法

津奈木町のB&G海洋センター駐車場で、郡消防ポンプ操法大会が行われました。芦北町からは先月開催された町大会小型ポンプの部で入賞した第8分団、第2分団が出場し、第8分団が見事に優勝。9月に玉名市で開催される県大会への切符を手に入れました。なお、ポンプ車の部も機動分団が優勝し、ダブル優勝となりました。

7/26

7/31

総務大臣表彰



▶家の縁側で話を聞くことも多い鬼塚さん（写真は総務省提供）

6月30日に総務大臣より行政相談委員の表彰が行われ、鬼塚和子委員（田浦町1）が受賞されました。これは、永年にわたり地域住民の身近な相談窓口として、住民から寄せられる様々な行政に関する相談の解決に向けて尽力するなど、その業績が特に顕著で、他の模範と認められる人へ贈られるものです。

鬼塚さんは令和2年豪雨災害の際には、総務省と連携し災害特別相談所を開設され、数多くの地域住民の相談に対応されました。鬼塚さんは受賞に際し「みなさんのおかげで受賞できました。ありがとうございます」と述べました。

少年補導等功労者表彰



7月27日、芦北警察署で少年補導等特別功労者へ表彰状の贈呈が行われました。

特別功労者表彰を受けたのは、農中 豊さん（小田浦2）。

農中さんは、平成26年4月に芦北地区少年補導員の委嘱を受けてから、少年の補導活動や有害環境の浄化活動などに尽力され、現在は芦北地区少年警察ボランティア連絡協議会の副会長を務められています。

農中さんは「指導や見守りをはじめ少年の薬物乱用防止活動に力を入れてきました、青少年の非行防止や犯罪被害をなくすために、引き続き活動を続けてまいります」と話しました。

防犯功労者表彰



▶左から椿さん、田代さん、白菊さん（花岡東防犯パトロール隊）

7月27日、芦北警察署で防犯功労者へ表彰状の贈呈が行われました。

これは、地域の方で犯罪による被害を減らそうと、永年にわたり防犯活動に尽力された個人・団体に対して、表彰が行われるものです。

表彰を受けたのは、椿龍馬さん（湯浦南）、田代貴士さん（宮崎）、花岡東防犯パトロール隊（白菊静子代表）の2個人1団体です。表彰を受け椿さんは「これからも、地域パトロール等を通して、安全・安心な地域づくりに努めていきたい」と話しました。

熊本県消防協会名誉会員伝達式



7月20日、役場応接室で熊本県消防協会名誉会員伝達式が行われ、松崎政司前消防団長（沖）が熊本県消防協会名誉会員に就任しました。これは、一般社団法人熊本県消防協会が当協会の事業遂行に関して、功労顕著な者を名誉会員として委嘱しているもので、松崎名誉会員は「名誉会員の就任を機に、芦北町消防団と熊本県消防協会の発展のために、より一層精進してまいります」と話しました。これまで、本町での名誉会員は松崎さんを含め2名が委嘱されています。

『みなまた・あしきたギョギョギョ大使』就任式

7月22日、県庁において『みなまた・あしきたギョギョ大使』就任式が行なわれました。

大使に就任したのはテレビでもお馴染みのタレントで東京海洋大名誉博士の『さかなクン』です。



今年度から水俣・芦北地域の新たな魅力の創出や全国に向けた情報発信等に取り組みます。就任に際しさかなクンは「これからもたくさん海に潜り、水俣・芦北の海の魅力を発信し続けたい」と抱負を述べました。



▶後列左から高岡水俣市長、蒲島知事、さかなクン、山田津奈木町長、竹崎町長、前列にくまモン

熊日「緑のリボン賞」受賞



7月13日、吉川慶弓さん（大川内）が、熊日「緑のリボン賞」受賞の報告に役場を訪れました。吉川さんは、町が委嘱する「ほたる保護監視員」を21年間務め、内野川でほたるの生育環境の整備や監視活動、小学校へ赴いての授業など行ってきました。受賞に際し吉川さんは「今回の受賞はみなさんのおかげです、今後も保護監視活動に積極的に取り組んでいきます」と述べました。

集団健診って何をみる？②

～大腸がん検診、肺がん検診 編～

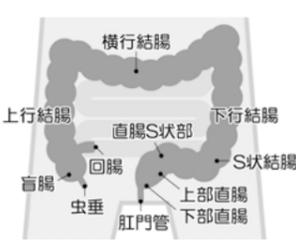
対象は40歳以上
年1回

健康ルーム Vol.50

あしたのため
健康 ROOM
のたのしみ
をえよ

健康増進課
Facebookで
情報発信中

【検査で分かる病気】
 ・がん
 ・大腸ポリープ
 ・潰瘍性大腸炎
 ・痔 など



大腸がん
 大腸がんは、大腸（結腸、直腸、肛門）に発生するがんです。便が長い間停留している「S状結腸」と「直腸」にがんがでやすいと言われています。
 男女ともに大腸がんは増えていますが、がん検診の中で大腸がん検診は、受診することで最も死亡率が下がることが証明されています。

大腸がん検診

(便潜血検査・検便)

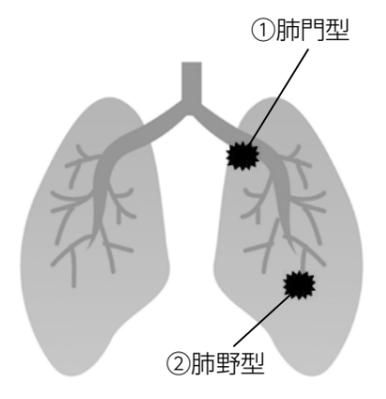
便潜血検査とは、大腸内の出血の有無を調べる検査です。大腸を直接診察するものではありません。

簡単!!
 自宅で検査キットに便をとり、提出するだけ!

肺がん

肺がんは発生部位によって2種類に分けられます。肺の入り口の太い気管支に発生するがん（肺門型肺がん）、肺の奥の方にある細い気管支や肺胞に発生するがん（肺野型肺がん）です。

肺がんは、ほかのがんと比べて転移しやすく、男女ともに日本のがんの死亡率の上位です。しかし、早期に発見できれば10年生存率は70%以上です。



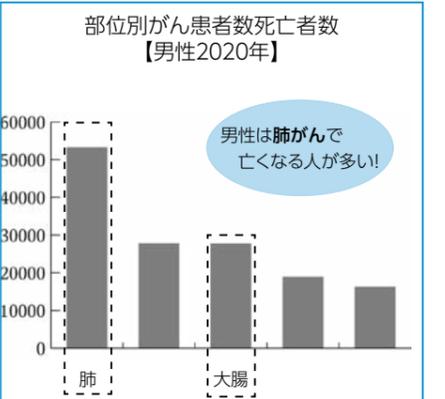
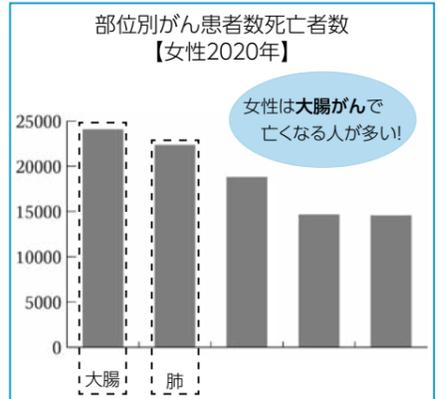
【肺門型肺がん】
 右図①
 →喫煙との関係性が大きい

【肺野型肺がん】
 右図②
 →非喫煙者でも多く発生する

肺がん検診

(胸部X線検査・レントゲン検査)

肺全体をX線で撮影します。被ばく量は極めて少なく人体への影響はありません。また、喫煙に関連して必要な人には喀痰検査（痰の採取）を実施します。



現在も健診（検診）申し込み可能です。健康増進課へ早めにお申し込みください。
 * 問い合わせ先 健康増進課 健康管理係 ☎ (82) 2511 (内線132)

ルークの交流コーナー
 国際交流員 Vol.08
 ルーク・ボールドウィン

最近私は、町内の学校との繋がりを持ち始め、町の子どもたちとの交流も増えてきています。町内のスーパーパーなどでも色々な人が話しかけてくれて、芦北町に少しずつなじんできたように感じています。

6月25日に、湯浦小学校の4年生にイギリスの紹介をしました。私は大學生のとき日本語でのプレゼンテーションをたくさんしてきました。そのため、子どもたちはどのような内容に興味があるのか、ちゃんと聞いてくれるかなど心配がありました。当日に子どもたちがとても楽しそうに

聞いてくれて安心しました。やはりみんな英語を生み出した国はアメリカだと思っていましたね！
 また、6月26日には「ボードゲームカフェ」という国際交流のイベントも開催しました。そこには、子どもたちも参加してくれてとてもよい交流が生まれました。今回はアメリカとイギリスの外国人が芦北町の日本人と集まり、日本語と英語の両方を使い、ボードゲームをしながら交流してもらいました。大人も子どもも楽しそうに色々な人と触れ合うことができており、やって良かった達成感がありました。



芦北町のいくつかの小学校では、カンボジア募金活動として毎年田植えをしています。その田植えにも子どもたちとの交流の一環として参加させてもらいました。イギリスには田んぼがないため、私の人生初の田植えになりました。現場に着いて田んぼを見ていると、田んぼの中に裸足のまま入ることに内心嫌な気持ちでしたが、いざ入ってみるととても気持ち良かったです。田植えが上手な子どもたちに植え方も教えてもらい、最高の体験ができました。

私自身、九州に来て初めての夏になりました。まだまだ暑い日が続きますが、体調に気をつけながら頑張りたいと思います。皆さんも一緒に暑い夏を乗り切りましょう。

「一口目は野菜から」

～ヘルスマイトが勧める野菜料理～

なすのホイル焼き



全重量 エネルギー80kcal 塩分0.6g

- 材料 (材料4人分)**
- なす 小3本
 - ベーコン 2枚
 - トマトケチャップ 大さじ2強
 - ピザ用チーズ 30g
- 作り方**
- ① なすはヘタを切り落とし、7～8mm厚さの輪切りにする。
 - ② ベーコンは粗みじん切り、トマトケチャップと混ぜ合わせる。
 - ③ アルミホイルに①を並べて②をのせ、チーズを散らして包み、オーブントースターで15分焼く。

ヘルスマイトより
 アルミホイルに包んで焼くので手軽に調理できます。チーズを入れカルシウムが摂れ、ピザ風の味で子どもにもお勧めです。

なすの豆知識▶ なすには、高血圧の予防改善、コレステロールの上昇抑制する働きがあります。



花を育ててみたいのですが。
 枯らさないコツ、花屋が教えます
 花福こざる／著 家の光協会

花屋を営むかわら漫画家でもある著者が、花の育て方を基本からわかりやすく解説します。栽培法のほか、初心者ややりがちな失敗や花の雑学なども交え、楽しく読めます。水やり、施肥、切り戻しなど管理のコツもしっかり解説。これまでにないコミックエッセイ風の園芸書で、花の栽培をマスターできます。

図書館 新着図書紹介

利用時間 (月曜休館)

火・木・金 9:00～18:00
 水 9:00～20:00
 土・日・祝 9:00～17:00
 ※9月1日から平日は10:00から開館します。

絵本の読み聞かせ

第2・4日曜日
 ①11:00～ ②15:00～
 場所:子どもの広場

新着図書数 8月分

一般図書	69冊
児童書	26冊
絵本	20冊
合計	115冊
蔵書総数	57,242冊

おすすめの新着図書	著者	出版社
古本食堂	原田 ひ香	角川春樹事務所
月曜日は水玉の犬	恩田 陸	筑摩書房
私語と	尾崎 世界観	河出書房新社
脱北航路	月村 了衛	幻冬舎
池上彰の世界の見方 東欧・旧ソ連の国々	池上 彰	小学館
自己肯定感0の私とロシア生まれの彼が出会ったら	はり	KADOKAWA
AIのサバイバル 1	ゴムドリ co.	朝日新聞出版
学校の怪談 5分間の恐怖 おがんではいけない	中村 まさみ	金の星社
よるのびょういん	谷川 俊太郎	福音館書店
あげる	はらぺこめがね	佼成出版社



総合コミュニティセンター 入館者数10万人突破!!

令和2年12月6日に施設の供用を開始した「芦北町総合コミュニティセンター」が、7月18日(月)に開館からの入館者数が10万人を突破しました。

開館以来、町内外を問わず多くの方々にご来館いただき、開館から約1年7か月での達成となりました。コミュニティセンターは「中央公民館」「図書館」「子どもの広場」「歴史資料展示室」等からなる複合施設で、年齢を問わず、どなたでも利用でき、肥薩おれんじ鉄道佐敷駅に隣接していることから、アクセスも非常にいいことが特徴です。

これからも前進するコミュニティセンターを目指し、感染症予防対策を講じ「展示」「町民講座」「ワークショップ」等を積極的に行ってまいります。皆様のご来館をお待ちしております。



地域学校協働活動のボランティア募集

「地域学校協働活動」とは、地域住民、PTA、民間企業、団体など幅広い方々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。

地域学校協働活動ボランティアはどなたでも参加でき、できる人ができる範囲で学校を支援する取り組みです。みなさんの力を子どもたちのために役立ててみませんか。

子どもと一緒に過ごしませんか？

芦北町の学校で活躍できるボランティアを募集しています

授業で
学習支援・水泳指導
地域歴史学習など

活動で
丸付け・読み聞かせ
校内美化作業など

地域で
職業体験・行事参加
登下校見守りなど

お問い合わせ

芦北町地域学校協働本部
0966-82-2213 (コミュニティセンター内)
もしくは最寄りの小中学校へ

ネットでも

富野 美術館だより



◀ 作品紹介 あさがお／1980年

○特別展『記憶の旅』／季節の常設展／『夏』
 期間 9月25日(日)まで
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 第2・4日曜日(祝日除く)

特別展『記憶の旅』／季節の常設展『夏』開催中

日常の小さな出来事や気づきを綴る富野作品。作品に描かれる四季折々の草花や風景は、私たちの記憶の中にあるようでない、追体験の旅への誘いとなり、日常の小さな一コマを愛おしく感じさせるのではないのでしょうか。本展では「さくら」や「ねこじやらし」「じやがいもの花」などの記憶に焦点を当てた作品を展示します。季節の常設展では「ぶどう」や「河原撫子」「あさがお」など、夏をテーマとした草花の詩画作品を紹介いたします。ぜひ、この機会にご覧ください。

子どもの人権110番

8月26日から9月1日は「子どもの人権110番」強化週間です。通話料は無料で、相談内容についての秘密は堅く守られます。

期 日	8月26日(金)、9月1日(木)
時 間	午前8時30分～午後7時(平日) 午前10時～午後5時(土・日曜日)
相 談 内 容	いじめ、暴力、虐待、体罰等子どもをめぐる様々な人権問題をめぐる様々な人権問題
相談担当者	人権擁護委員、法務局職員
電話番号	0120(007)1110
その他	熊本地方法務局では、本強化週間以外についても、月々金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで、同じ専用相談電話で相談に対応します。

*問い合わせ先

熊本地方法務局 人権擁護課
☎096(364)2145
(内線412)

「児童福祉週間」標語の募集

毎年5月5日の「子どもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための行事を行っています。
今回、令和5年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。

詳細につきましては(公財)児童育成協会のホームページをご参照いただくか、左記問い合わせ先までお問合せください。
○募集期間
8月1日から9月30日まで
(郵送の場合は当日消印有効)

「消費生活特別相談会」の開催

商品購入トラブルや投資話、お金のことでお悩みの方は、この機会にぜひご相談ください。
(相談無料・秘密厳守)

*問い合わせ先

公益財団法人 児童育成協会「標語募集」係
☎03(5357)1174

*問い合わせ先

期 日	9月4日(日)
時 間	9時～16時 (消費生活相談) 10時～15時30分(弁護士相談)
場 所	八代市役所2階 消費生活センター
相談内容	消費生活相談員による相談 弁護士による相談
その他	弁護士相談は事前予約が必要です。 相談時間は1人30分です。

*問い合わせ先
八代市消費生活センター
☎0965(33)4162
八代市市民活動政策課
☎0965(33)4482

海岸ボランティア清掃にご協力ください

令和4年度「くまもと・みんなの川と海づくりデー」の一環として海岸のボランティア清掃を行います。みなさまのご協力をお願いします。また、各地域においても、海岸・河川などの清掃作業をよろしく願っています。

期 日	8月27日(土)
時 間	7時30分～8時30分(1時間程度)
場 所	①鶴ヶ浜海水浴場 (※駐車場 芦北海浜総合公園) ②御立岬海水浴場 (※駐車場 御立岬公園カーポート横)

*問い合わせ先

住民生活課 環境対策係
☎(82)2511(内線145・147)

「ふるさとづくり基金運用事業」の申し込みについて

『町内の各地域において活動している地域づくり団体や、今から継続的にまちづくりを続けていきたいと考えている方で、一定の条件を満たすと町の助成が受けられます。対象事業には、スポーツ・文化振興・国際交流・研修助成及び地域間交流事業などがあります。○申込期限 9月2日(金)まで

*問い合わせ先

企画財政課 復興創生推進室 復興まちづくり係
☎(82)2511(内線254)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントが中止になる場合があります。お出かけ前にイベントが開催されているかをご確認ください。

子育て支援センター (9月の行事)

- 6日(火) ダンスをしよう
 - 13日(火) おじいちゃん・おばあちゃんのプレゼント作り
 - 28日(水) 身体測定・絵本の読み聞かせ
- ※子育て支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。(一時保育も行っています)
※子育て仲間づくりや情報交換にお気軽にご利用ください。
▶支援センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
9:00～12:00 13:00～15:00

*問い合わせ先

子育て支援センター (田浦保育園) ☎(87)0034

児童館からのお知らせ(9月の行事)

- 《芦北児童館》
「手作りバッグを作ろう!」
▶日時 9月3日(土) 13:30～15:30
▶内容 色画用紙や牛乳パックを使って、バッグを作ります。
 - 《湯浦児童館》
「地域の人と交流を深めよう!」
▶日時 9月3日(土) 13:30～15:30
▶内容 地域の老人会の人たちと、歌や遊びを通して交流します。
- 利用時間 毎週火～日曜日 10:00～18:00
*問い合わせ先 芦北児童館 ☎(82)3036
湯浦児童館 ☎(86)0074

芦北町・水俣市・津奈木町広域 イベント情報

水俣市 第52回 湯の鶴夏祭り(鈴虫祭)

3年ぶりの開催です!
郷土芸能の披露や物産展、竹あかり、鈴虫の共鳴会やお楽しみ抽選会など楽しいイベントが盛りだくさん!湯の鶴温泉街で当日使える入浴券を無料配布します。
※駐車場(湯出小学校運動場)から会場まで無料シャトルバスを運行します。
▶日 時 8月20日(土) 18:00～
※小雨決行
▶場 所 湯の鶴温泉多目的広場
*問い合わせ先
一般社団法人みなまた観光物産協会
☎(63)2079

津奈木町 今が旬!「つなぎ金鯉フェア」

今年も「つなぎ金鯉フェア」を開催します!
この時期に不知火海で獲れる『金鯉』。町内の飲食店・販売店で、天ぷらや湯引きなどこだわりの鰻料理を提供します。
▶開催期間 8月31日(水)まで
▶対象店舗 末広屋、かなり、つなぎ温泉四季彩よりみち、水光社津奈木店
*問い合わせ先
つなぎ食の振興協議会(津奈木町商工会内)
☎(78)3580

芦北町・八代市・氷川町定住自立圏 イベント情報

八代市 第23回 九月は日奈久で山頭火



昭和5年9月に放浪の俳人「種田山頭火」は日奈久温泉を訪れた際、「行乞記」の中で日奈久の湯を称賛しました。そのことにちなみ、日奈久温泉では毎年9月に山頭火に関するイベントを開催しています。

今年も山頭火が宿泊した「おりや」の一般公開や「おりや句会」、ガイドが案内する「日奈久街並み再発見」、「山頭火シンポジウム」、日奈久を題材にした「絵手紙・俳画募集」、「俳句募集」、などを行います。
詳しくは日奈久温泉観光案内所へお問い合わせください。
*問い合わせ先
日奈久温泉観光案内所(日奈久ゆめ倉庫内)
☎0965(38)0267



9月17日(土)、
18日(日)開催!

みなでつなごう 希望 あしたへ 水葦県体 通信

9月17日(土)・18日(日)に、水俣・芦北地域で開催する熊本県民体育祭の情報を全7回にわたり掲載していきます。今月号は各競技会場の紹介です。

いよいよ、9月17日(土)・18日(日)の両日で「第77回熊本県民体育祭水俣市・芦北郡大会」を開催します。

大会結果、選手の活躍の様子等は、大会終了後広報紙等でお知らせします。

競技名	競技会場
水泳	水俣市立総合体育館 屋内プール
軟式野球	エコパーク水俣 野球場
	JNC(株)塩浜総合運動場 芦北町地域間交流スポーツグラウンド 芦北町宮湯浦運動公園
ソフトボール	【男】 エコパーク水俣 ソフトボール球場 エコパーク水俣 多目的広場
	【女】 熊本県立水俣高等学校 第2運動場 熊本県立水俣高等学校 第1運動場 城山公園グラウンド
ソフトテニス	エコパーク水俣 テニス&フットサル兼用コート
バドミントン	【男女】 芦北町民総合センター (しろやまスカイドーム)
剣道	水俣市立武道館(17日)
相撲	熊本県立芦北高等学校相撲場(18日)
弓道	芦北町立弓道場(近的)
	芦北町立テニスコート(遠的)

「第75回荒尾玉名大会」「第76回八代大会」とコロナ禍の影響を受け中止となり、今年は3年ぶりの開催です。ただ、残念ながら今大会も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**原則・無観客**で行います。大会当日、会場周辺は大変混雑することが予想されます。近隣のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いします。

競技名	競技会場
卓球	芦北町地域活性化センター
クレ射撃	芦北町立湯浦温泉射撃場
ボウリング	パスカワールド宇土店
サッカー	津奈木町総合グラウンド
ゲートボール	芦北町宮田浦運動場(17日)
ハンドボール	【男】 水俣市立総合体育館 大・小アリーナ
	【女】 津奈木町 B&G 体育館
バレーボール	【男】 八代トヨオカ地建アリーナ (八代市総合体育館) 大・小体育室
	【女】 熊本県立水俣高等学校 体育館 水俣市立水俣第二小学校体育館
テニス	エコパーク水俣テニスコート
空手道	芦北町地域資源活用総合交流促進施設(交流センター)
柔道	水俣市立武道館(18日)
銃剣道	津奈木町立津奈木中学校体育館(18日)
アーチェリー	水俣市立袋中学校運動場
バスケットボール	【男】 熊本県立芦北高等学校体育館 芦北町立湯浦中学校体育館
	【女】 旧水俣市立水俣第三中学校体育館 水俣市立袋小中学校体育館
グラウンド・ゴルフ	芦北町宮岩崎グラウンド
馬術	熊本県立菊池農業高等学校馬術場
陸上	エコパーク水俣 陸上競技場

問い合わせ先

第77回熊本県民体育祭
水俣市・葦北郡大会実行委員会事務局
〒867-0000 熊本県水俣市中央公園1番地
☎0966-63-8777
FAX0966-63-8778
メール: minaashi-kentai@eos.ocn.ne.jp

SNSや大会 HP で情報発信中!

大会に関するいろいろな情報を発信しています。気軽にいいね!とフォローしてください。



Instagram



フェイスブック



県スポーツ協会

地名のお話し ③

今月号からは町内の地名の由来について、考えてみます。

まず、「田浦」ですが、田浦地名の初出は、南北朝時代の正平6年(1352年)に書かれた書状に「葦北ノ庄田浦凶徒」(『相良家文書』)とあり、田浦で南朝軍が蜂起したことが記されています。以後、「田浦」は現在まで使われています。

田浦地名は、文字だけ見ると「田んぼが多い浦」が地名由来のように思えます。しかし、戦後すぐの田浦は「よそのように耕地に家が点在するのではなく、家々の間に田畑が点在している程の、耕地の狭い田浦だ」(『田浦町誌』)と、とても田んぼが多いとは言えない景観でした。

田浦にある(株)東海カーボン田ノ浦工場や肥後田浦駅の名称は、神奈川県横須賀市田浦との混同を防ぐために、「ノ」や「肥後」が付けられています。横須賀市田浦は東京湾沿岸にあり、入り組んだ海岸線が手のように見えることから、かつては「手浦」が地名でした。同じような例として、福井県敦賀市に「手の浦(たのうら)海岸」があります。

「たのうら」地名は全国的に見ても、沿岸分の湾状地形に「田浦(田野浦、田の浦)」地名が多く分布しており、いず



れも水田耕作地となる平地がない狭い土地です。

田浦も八代海沿岸、田浦湾の奥に位置し、図にあるように元禄12年(1699年)の田浦新地干拓以前は湾が深く入り込み、現在の芦北町役場田浦支所の隣の浜町八幡宮(鳩八幡)は湾内の小島に建ち(鳩川波戸)、「古塘」が海岸線でした(塘は堤防)。この地形を見ると、田浦も元々は「手の浦」であった可能性が高いと考えられます。

短歌

芦北短歌会

蛙の子亀に捕まり大あばれ弱肉強食目のあたり
米良 佑子

地に響く夜半の雷雨の襲いくる脳裡を過るあ
の日の記憶
小川 勝子

夏椿白き花びらやさしくてはじめて見るも釈
迦の縁か
加来 道子

七夕の願いを込めて軒下に「夜空のむこう」
口遊みおり
門寺 真弓

落日に音無くはざる鳳仙花次の世代を土に託
して
才田 明

vol. 5 町内企業紹介

栗村打抜金網株式会社

所在地 芦北町大字芦北2782
創業 1917年(大正6年)
従業員数 16人(九州工場)
14人(大阪工場)
事業内容 打抜金網、製缶加工



ホームページ
<https://ssl.awamura-metal.co.jp>



求人情報▶



栗村嘉夫 常務取締役

次代へつなぐ「歴史と技術」
若い力で
古くて新しい会社をつくる

introduction

5回目となる町内企業紹介は、栗村打抜金網株式会社です。今回は常務取締役の栗村嘉夫さんにお話を伺いました。今回も興味深いお話がたくさんありそうです。張り切って伺ってみましょう。

栗村打抜金網ってどんな会社

「栗村打抜金網株式会社」は、いわゆる『篩(ふるい)』を製造する専門メーカーです。一般的には聞き慣れませんが「パンチングメタル」と呼ばれる金属に穴をあけて加工した製品を製造し、全国各地へ出荷しています。

多種多様な製品

製造している製品は、建築用外壁のパンチングメタルをはじめ、製紙会社、穀物用篩、食品関係、プラント、タンク、リサイクル工場などへの納入実績があり、九州にある大きな製鉄所へも納入しています。

また、近頃テレビでも見かける「カップ麺を製造する」ある工程”においても、当社のパンチングメタル製品が使用されています。

総合型工場

特殊な大型機械から、金型加工機、曲げ加工機、レーザー加工機を揃えており「総合型工場」として、製品の製造を一貫して行っています。

設備の多様性

豊富な加工機械で一貫生産

▶ 打ち抜く機械



▶ 打ち抜いた板を平坦に矯正



▶ 最新鋭のレーザーカット機械



▶ 曲げ加工が終わった篩の形に



▶ 穴あけ工程は地面も揺れる衝撃と音が!



ピンチをチャンスに変える

令和2年7月豪雨は、当社でも設備をはじめ工場全体に甚大な被害をもたらしました。約1m程浸水し設備に関しては大半が水没してしまいました。

しかし、私たちは諦めませんでした。使用できなくなった設備を修理・入替を行い、大幅に若返った新しい設備と共に、従業員一丸となり、また新たな一歩を踏み出しました。

地域との共生と社会貢献

製品の性質上、地域の人たちとの関係性が希薄になりがちですが、地元での総合型地域スポーツクラブの「トレジャークラブ」へ仲間の企業と共にユニフォームの提供などの支援を行っています。これからも積極的に地域へ溶け込み、これまで以上に貢献できるよう、また、より住みよい町になるよう、微力ながら協力させていただければ幸いです。

古くて新しい会社へ

大量生産による廉売ではなく、ユーザーの要望に耳を傾け「打抜のプロ」として、最後の加工まで責任を持って一貫生産を行うことで、都会でなくとも、地方で活躍できる企業としてのポジションを確立していきたいです。